

教科	社会	学年	第2学年
----	----	----	------

単元名	時数	単元の到達目標(小単元のねらい)	単元のまとまりの評価規準		
			知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
地理的分野 日本の地域的特色と地域	18	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信の項目」を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。 (1) 日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解できる。 (2) 少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解できる。 (3) 日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解できる。 (4) 国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解できる。 (5) 各項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解できる。 (6) 日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けること。 (7) 各項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現できる。 (8) 日本の地域的特色を、各項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。	・日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 ・少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 ・日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ・国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ・我が国の地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し、理解している。 ・日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身につけている。	・日本の地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ・日本の地域的特色を、地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。

地理的分野 日本の諸地域	36	自然環境を中核とした考察の仕方を基にして、空間的相互依存作用や地域などに着目して、主題を設けて課題を追究したり解決したりする活動を通して、以下の資質・能力を身に付けるようにする。 (1) 各地方について、その地域的特色や地域の課題を理解できる。 (2) 自然環境を中核とした考察の仕方に取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解できる。 (3) 各地方において中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現できる。	・幾つかに区分した日本のそれぞれの地域について、その地域的特色や地域の課題を理解している。 ・日本の諸地域の考察の仕方に取り上げた特色ある事象と、それに関連する他の事象や、そこで生ずる課題を理解している。	・日本の諸地域において、それぞれの地域で扱う中核となる事象の成立条件を、地域の広がりや地域内の結び付き、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と有機的に関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。	・日本の諸地域について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
地理的分野 地域の在り方	5	空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の事項を身に付けるようにする。 (1) 地域の実態や課題解決のための取組を理解できる。 (2) 地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解できる。 (3) 地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現できる。	・地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ・地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。	・地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察し、表現している。	・地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。

歴史的分野 近世の日本と世界	23	・14～16世紀のヨーロッパでは、ルネサンスや宗教改革、アジアへの新航路の開拓などの動きがおこり、ヨーロッパ諸国が貿易や不況などを目的に世界各地へ進出していったことを理解する。 ・ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。 ・織田信長・豊臣秀吉による全国の統一事業や、朝鮮半島への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつくられていったことを理解する。 ・海外から南蛮文化などが取り入れられる一方で、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪壮・華麗な文化が生まれてきたことに気づく。 ・江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色について考える。 ・江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについてとらえ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 ・貨幣経済の広まりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解するとともに、新しい学問・思想の動きに気づく。	・ヨーロッパ人来航の背景とその影響、織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、近世社会の基礎がつくられたことを理解している。 ・江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ・産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりなどを基に、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解している。 ・社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。	・交易の広がりとその影響、統一政権の諸政策の目的、産業の発達と文化の担い手の変化、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近世の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近世の日本を大観して、時代の特色を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近世の日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
---------------------------	-----------	--	--	--	--

歴史的分野 日本の近代化と国際社会	23	・欧米諸国が、市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。 ・近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出したことについて考える。 ・社会の変ドや欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治がしだいに行き詰まりをみせたことを理解する。 ・幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。 ・新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについてとらえ、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ・自由民権運動や大日本帝国憲法の制定についてとらえ、立憲制の国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。 ・条約改正の歩みや日清・日露戦争についてとらえ、日本の国際的地位が向上したことを、大陸との関係と関わらせて理解する。 ・日清・日露戦争を通じて、日本をとりまく国際関係が変化したことについて考える。 ・産業革命により日本で近代産業が発展したことと、それによる社会の変化について理解する。 ・学問・教育・科学・芸術の発展を背景に、近代文化が形成されたことを理解する。	・欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ・開国とその影響、富国強兵・殖産興業政策、文明開化の風潮などを基に、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ・自由民権運動、大日本帝国憲法の制定、日清・日露戦争、条約改正などを基に、立憲制の国家が成立して議会政治が始まるとともに、我が国の国際的な地位が向上したことを理解している。 ・我が国の産業革命、この時期の国民生活の変化、学問・教育・科学・芸術の発展などを基に、我が国で近代産業化発展し、近代文化が形成されたことを理解している。	・工業化の進展と政治や社会の変化、明治政府の諸改革の目的、議会政治や外交の展開、近代化がもたらした文化への影響、経済の変化の政治への影響、戦争に向かう時期の社会や生活の変化、世界の動きと我が国との関連などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、近代の社会の変化の様子を多面的・多角的に考察し、表現している。 ・近代の日本と世界を大観して、時代の特徴を多面的・多角的に考察し、表現している。	・近代の日本と世界について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
------------------------------	-----------	---	---	---	--